新京日日新聞
夕刊
十二月八日（金）

昭和八年の回顧（八）

羨ましい水源

上下水完備と教育、衛生の三大計畫漸く成る

特別市の巻　承前

水源の擴張計畫としては西四馬路、西三馬路の新設井戸がありいづれも本年中には竣工の豫定だが共に水質良好、その湧水量前者は一日千立方米、後者は一日五百立方米に上り、現在では給水に事缺かぬ有樣でこめ黠附屬地住民には羨まれるところだ、更に水源池の調査としては大水源池の建設は國都建設局で計畫中だが完成迄には少くとも二三年はかゝるであらうといふので、現實十有三萬の人口を擁する同市では當面の問題として一日二千四百立方米を目標として水源池の擴張計畫を立て目下各所に試掘調査を進めてゐる、一方上水道五ケ年繼續事業として總豫算五十一萬八千九百十二圓を中央銀行より借入れ、そのうち今年度十五萬圓を支出し既に工事に着手した、大同二年度には大体完了の見込である

下水道關係

下水道の施設は都市の衛生施設として最大重要事の一つであり在來市街の全地域に亘つて下水道計畫を立て急を要する分から既に施工に着手してゐる、本年度は永春街、西四馬路、西五馬路、東三馬路、およびこれより分岐する各胡同大緯路で既に竣工せるもの、又は工事中のものもあるが大体年内には出來上ることになつてゐる、その他土木關係として市街地の測量および番地の制定、縣市境界標の設置などご余り目に見えぬものも相當あり、工事當局者は解氷期以來全く不眠不休といつてもよい位活躍したものだ

教育關係

附屬地と同じやうに各學校とも大入り滿員、收容難に悩まされてゐるが特別市制の實施で長春縣から引継いだもの七校が加つて市立學校數は十七校、その就學兒童三千三百餘名に上つてゐるも十七校のうち十四校は不完全なる借校舍であるのでこれを漸次廢止し併せて就學難を緩和するとともに他方附屬地居住の滿人子弟の就學難を緩和したいといふので市公署では約一千二百名を收容し得る大校舍を新築すべく、これに要する建築資金約十五萬圓の借入方を滿鐵に交渉中で何れこれが決定次第來春解氷期とゝもに着手するに至るであらう

衛生關係

衛生に關する事業としては特殊傳染病隔離所および新京居畜場の二大計畫が本年においていよ〳〵決定までに至つたが工事は間に合はず來春早々着手される、いまその序でにその內容を窺つて見ると前者はペストおよびコレラの特殊傳染病患者のために滿鐵會社と共同し建築費國幣二十萬圓を兩者折半同額出資の下になされるもの、又後者は從來滿鐵側および滿洲國側でそれぞれ居畜場はあるが狹隘且つ衛生上の設備不完全のものでありこれを完備するとともに人口增加に伴ふ需要供給を圓滑にやること、これを滿鐵と共同出資三十萬圓を折半して共同經營に當らうといふのである

天津上海間更に一艘就航

事變前の舊態に復す

〔上海七日發國通〕上海事變後休航中であつた大連汽船の上海天津間航路は十一月中旬天潮丸の就航により一年半振りで恢復されたが、滿北方面の現狀安定と共に相當の荷動きを見るに至つたので更に濟通丸を同航路に配する事となり、同船は昨日雜貨を積んで當地に入港した

今後は天潮丸と共に月二回宛當地へ入港する筈であるが、これによつて同社の上海、天津線は二隻配船の事變前の狀態に復舊した譯である

日本陶器の進出も

英下院で問題となる

〔ロンドン七日發國通〕去月廿九日、日本綿製品の競爭に關し白熱的討論を行つた英國下院は六日又復日本製陶器の競爭問題で活潑な應酬が行はれた、先づ保守黨議員コーフランド夫人は日本陶器競爭問題を持ち出し業者の救助を訴へると共に政府の即時有效な對策を要望して左の如く述べた

日本品は爲替漸落で續々各國市場を侵入しつゝあり、その結果從來英本國から輸出されてゐた陶器は自治領に於ても日本品に驅逐され而かも日本品は屢々商標模造をなし現在海外にある日本陶器は英國製としたものが多數である

と述べた更に商務省の當局者は

適當な割當比率を定める事に依つて英帝國市場に於る日英貿易の共存共榮の道が遠からず發見されるものと信ずる

と述べた

聯盟改組に

英國は大體贊成

〔ロンドン六日發國通〕國際聯盟改組に對し英國は大体贊成の意を表してゐる

佛國は靜觀中

〔パリ六日發國通〕國際聯盟改組問題に對する佛國の意向は「聯盟改組は加盟國全部の贊成を要するからイタリーの提議に直ぐ贊成する譯には行かない」と現在のところ靜觀するものゝ如くである

第六十五議會

本年內議事日程

〔東京七日發國通〕六十五議會は廿三日を以て召集されるが近く各派交渉會を開きその通り年內の議事を決定する筈

二十三日午前九時兩院開會、部屬を抽籤で決定して兩院成立、この旨政府へ通告、二十四日日曜休日、二十五日大正天皇御壹祭で休み、二十六日午前十一時 車駕親臨し開院式衆議院は十一時十分奉答文の議事を開き起草を終つて本會議で報告、二十七日貴族院は午前十時奉答文の議事を開き可決後近衛、秋田兩議長參內して奉答文を奉呈、この間各委員決定、二十八日より一月二十日まで休會となる

共同毛織配當は一割八分と決定

〔東京七日發國通〕共同毛織の重役會合し今期配當は七分增配の年一割八分と決定した

東株重役會

增資株賣出し方を協議

〔東京七日發國通〕東株重役會は七日午後增資株賣出し方法を協議の結果、永光理事が商工省に具体案を內示し諒解を得たが最低プレミアムは約三十圓見當と見られ、拂込額三十七圓五十錢を加算して新東株は十圓の値開きだ

物價指數漸落

〔東京七日發國通〕日本銀行調査によれば、十一月の內外物價指數は東京一四二、一で前月に比し九厘七毛安、ロンドンは九五、三で一分八厘九毛低落、ニューヨークは一〇一、二で三厘九毛安、パリ三八、四で五厘一毛安といふ數字で、右は世界的に漸落傾向を示し、國際的インフレ要求と對比して注目されて居る

日本紡

配當一割据置

〔東京七日發國通〕大日本紡重役會は本日配當一割据置を決定した

上海の外人から日本名山の紹介方依頼

〔東京七日發國通〕上海大學の体操敎師ハイニッチ氏からクリスマスより三週間に亘り日本の名山を訪れたいとの依頼が觀光局に届いたので觀光局では霧ケ峰を推薦することに決定通告するところあつたが觀光局としても在支外人間に大いに宣傳することゝなつた

日滿悲曲 生命線を行く（三十六）

國友雄吉（荒川芳三郎畫）

わけへだて

久彌は、晴子から聞いた話で、スッカリ牧原氏の心持を知ることができたので、もう牧原氏に會つてみようといふ氣も無くなつてしまつた。で、日ケ壇の路上で、晴子と別れると、そのまゝ悄然として、我が家へ戻つて來た。

歸つて來た時、ちようど時計が十時を報じてゐた。彼は、そのまゝズッと、自分の書齋の方へ行つてしまつた。そして、ドツカリと椅子へかゝつたが、失望と、疲勞とで、一時に、がつかりとなつてしまつた。

すると間もなく、廊下に足音が近づいて來た。それが、母親の足音であることが久彌には、よくわかつてゐた。

果して千瀬子夫人が、扉を開けてはいつて來た。まだ寢もやらずに彼女は、我が子の歸りを待つてゐたのだつた。

「お歸りだつたかい。途中で雨に遇つて、困りはしなかつたかね」

夫人は、靜かに椅子にかゝりながら、我が子の顔色を、窺ふやうにして、優しくいつた。

「いゝえ、別に濡れはしなかつたですよ」

久彌は、母の方を、振り向かうともしないで、至極ブッキラボウに言つた。心では、優しく言はねばならないと思ひながら、只、わけも無く苛々して、どうしても、優しく言ふことができなかつた。

「さあ、お茶でもおあがり」

夫人は、茶を入れて持つて來たのであつた。

「ありがたう——」

久彌は、いつもなら、必ず直ぐに手を出す筈の茶菓子を、今夜に限つて、振り向いて見やうともしなかつた。

「どうしたの？　おまへの好物のお菓子ですよ。わざ〳〵買ひに遣らせて置いたんぢやないの」

「でも、今夜は、ちつとも欲しくないんです」

さう言つて、久彌は、手を伸ばして机の上の雜誌を引寄せて、そのページを繰つた。しかし彼は雜誌を讀んでゐるのではなかつた。

心の中では、さつきの、晴子のとの話のことを、頻りに考へてゐるのだつた。

夫人は默つてヂツト、我が子の樣子に注意してゐたが、やゝ暫らく、沈默のつゞいた後、彼女は言つた。

「おまへ、今日、牛込へお行きだつたさうだね」

いづれは母に知れることだと思つてゐた。けれども、あまりにそれが早かつたので、久彌は思はずギックリした。

「えゝ、行きました——姉さんから、なんとか言つて來たんでせう」

「さつき、電話がかゝつて來たの」

「僕、たうとう邦彦兄さんと、衝突をしちやつたんだ。兄さんが、あまり冷淡だから——どうせ姉さんのことだから、口惜がつて、不足を言つて來たんでせう」

「えゝ、それはねえ——しかし、おまへも、能く考へて呉れなくちやいけませんよ。牛込の兄さんでも、姉さんたちでも、誰でも、みんな家の爲を思つて、して呉れることなんだから——」

久彌は初めて、母の方へ、クルリと、椅子を向け直した。

「家の爲を思つてくれるのは宜いです。けれども、格別の理由も無しに、伸一兄さんを排斥して、僕のために、餘計な親切を見せて呉れるのは、僕に取つては、有難迷惑で、ちつとも嬉しいとは思ひません」

「コレ〳〵、そんな大きな聲をして——若し伸一に聞こえたら、どうします」

「聞こえたつて、宜いぢやありませんか。お母さんは、なぜ、伸一兄さんに、そんなに別け隔てをするんです」

「まあ！　この子は、なにを言ふの。誰が、別け隔てなんかするものですか」

「だつて、僕が何を言つたつて、伸一兄さんに聞かれて、惡いことは一つも無い筈です、それだのに今のやうに、兄さんを警戒するのは、つまり別け隔てぢやありませんか」と、久彌は詰るやうに言つた。

シンガポール軍港 一九三九年迄に完成

―英海相モンセル氏發表―

〔ロンドン六日發國通〕六日の英下院でモンセル海相はシンガポール軍港は一九三九年迄に完成すると發表した

英硬化への逆轉は

我方の決定的態度への反撥と 植民地制約上の見地に基く

〔デリー七日發電通〕印度側の最後案提出事情に就て

＝確聞＝ するに前回印度が最後案として出したものは晒八分であり、之に對して出された日本最後案は融通量を入れて一割八分であつた、その結果この差が五、六分であれば妥協の望みもあるが此甚だしい懸隔があつては到底歩み寄りの餘地なく而も日本は單に諾否の回答を求めるので日本は何處迄も高壓的態度を採るものと云ふ印象を印度と英國に與へた、然し印度としては折角こゝ迄來たのだから何とかして纏めたいとて官民協議會等を開いた結果、結局一割二分迄讓歩する覺悟を定めてゐた際である、そこへ內地よりの聲明書が報道され英國にも傳へられて形勢は俄かに逆轉し殊に英國としては和蘭等の

＝會議＝ もあり各植民地の制約上今後各方面への影響を考慮して一層硬化するに至つたのである

方針を決定せるものと觀られて居る

日印會商の動向

最後的回訓案に就き 官民協議會開催

〔東京七日發國通〕日印會商の最後的回訓協議の官民懇談會は七日午後四時外務省通商局長室に於て外務省から來栖通商局長、商工省吉野次官、竹內工務局長、當業者側より阿部房次郎、富士瓦斯紡績庭村美久、日清紡績の宮島清次郞の諸氏出席し最後的回訓案につき協議を重ね、四時五十分散會した

本日の會議に於ては政府としても最後的決意を以て當業者側にその對策を打開け、當業者側よりも最後的に讓り得る限界點を明示して懇談、阿部委員長は八日夜大阪に歸つた上當業者側に政府側の意向を傳へ更に政府側と連絡を採る事となつた、尙此の會議では當業者側がより多く發言し腹の底を打ち明けて政府側に希望を開陳した模樣である

多少の不利は忍んでも 新協定締結希望

我當局印度案受諾か

〔東京八日發國通〕日印會商が第十四次會商で印度提案が我最後案を一蹴し殆んど何等の讓歩を爲し居らぬため形勢は俄然惡化、會議の成否は一に日本の諾否如何に懸り我外務商工兩當局も之が對策を重要視し、政府としては既に

一、綿布年額四億ヤード對印輸出の原則の確定

一、綿糸布關稅七割五分を五割に引下げること

一、人絹雜貨の最惠國待遇を確保したこと

等の主要な成果に鑑み多少の不利は忍んでも大局から日印新協定を成立せしむるため今回の印度案の受諾を可とする

リンバーク夫妻 大西洋逆橫斷に成功

〔ナタール六日發國通〕六日午前二時アフリカバサーストを出發したリンドバーク夫妻は無事南大西洋逆橫斷飛行に成功した

駐哈佛領事館員の 對滿暴言に

滿洲國斷然憤慨問題化せん

〔ハルビン七日發國通〕北滿唯一の富豪モデルン・ホテルの若主人カスペ氏虐殺事件に關しハルビンフランス領事館員シャンボン氏が五日附赤系露字新聞に「滿洲國官憲は無能なり」と暴言したる事件は俄然急角度に展開、官憲は六日市內某所を襲ひ各種の反滿文書多數を押收して引揚げたが、右の怪文書を發見した、卽ち

官憲は何等拉致犯人の搜査を行はず、今回の犯人の檢擧も全くフランス側の余計な手を患はさなかつたらカスペは生きて歸つたであらう

とあり、佛露英の三國語にしたゝめ、私かに各方面へ撒布せんとしてゐたものである、滿洲國側では獨立國の警察權を誹謗するも甚しいと憤慨しその言動に對して斷乎たる措置をとるべしと强硬な態度を示して居り、斯くてカスペ事件はフランス側の失言より今や急轉直下滿佛兩國間の外交問題化せんとする形勢を示すに至つた

歸國の學良に

要職を與へて討匪に當らせる

〔北平六日發國通〕信ずべき筋への情報に依れば、張學良は明年一月上旬歐洲よりの歸國に際し途中香港、上海に立寄り更に漢口に向ふ筈だが、蔣介石氏は學良の到着を漢口に待ちうけて會見し、學良を要職に就かしめ共匪討伐にあたらしめる筈だと傳へられてゐる

西南派提出の

福建問題解決策內容

〔上海八日發國通〕西南側の福建問題解決策として一日南京側に提出された五項の條件は西南派與蔣の懸る問題丈けに臆說百出の狀態だが、確聞するに

一、軍事行動の停止

二、蔣介石、汪精衛の下野

三、軍權を軍事委員長蔣介石より國民政府に移すこと

四、訓政時期の短縮

五、上海における和平會議の召集

の五項で、之に對し南京側は第一、四、五の三項目は無條件承認するも第二、三兩項に難色を示し、卽ち第二項にあつては汪精衛氏のみの辭職を認め胡漢民氏をその後任に迎へ、西南側殊に胡漢民系の元老派に相當の要職を與へて歡心を買ひ、遮二無二第四回全体會議を豫定通り十日に開催して之を事實上の協力政府とし、新年早々歸國すべき張學良とも協力參加せしめる計畫であると傳へられる

何應欽氏

柵祝萬逮捕に 狂奔

〔北平七日發國通〕何應欽氏は福建政府が最近北支擾亂の爲柵祝萬を密かに北上せしめ策動を開始したとの情報を得たので、之が逮捕に狂奔してゐる

イタリーの聯盟改革案と

我外務當局の觀測

〔東京八日發國通〕イタリー提唱の國際聯盟改革案に關し外務當局は左の通り語つた

外務省としては未だ何等の交涉は受けてゐないが新聞電報で觀測するに聯盟の强化を圖るためには日、獨、米、露の四大國の加入を實現する必要あることは勿論であるが日本に關する限り聯盟脫退の際に於ける最後の主張と同じく日本は脫退はしても平和各般の企圖には今後も協力する事を明にして居り、今回の聯盟改造內容が果して此の趣意に合するか否かによつて日本の態度は自ら決せらるべきであると思ふ、イタリーは聯盟の經濟活動を擴大し、原料品の國際的分配を圖ることを强調して居り、實際に於ても世界の原料品分配が公平を缺くことは世界平和を脅威する原因たる事あるに鑑み豐富に原料を有する數大國が特に反省せねばならぬ

軍側の新資料要求で

八田副總裁急遽歸連

七日の精査委員會に於て軍側では八田副總裁提出の資料に大体意見の取纏めを得たが、更に滿鐵側に對し新たなる資料の提供を求めたので八田副總裁は右につき本社と打合せのため今朝九時發列車で急遽歸連した

滿鐵辭令

新京列車區車掌心得 雇員 諫山義光

車掌を命す

鮮匪國民府

冬季活動方針 協議

〔奉天六日發國通〕鮮匪國民府に於ては、去る十一日革命軍各中隊長の任命を行ふと共に桓仁縣大灘に於て幹部會を開催の擴大强化を圖ると共に冬季結氷期に於る活動方針につき協議を遂げた、新任命者並に決議事項左の如し

第一中隊長 李春山

第二中隊長 趙化善

第三中隊長 沈就俊

第四中隊長 朴大浩

第五中隊長 文學彬

第六中隊長 朴東根

第七中隊長 崔冗奎

決議事項

各中隊より決死隊三名づつを選定しこれに拳銃、爆彈二個づつを交附し鴨綠江外日滿[illegible]要機關の襲擊暗殺等を決行せしめる外富豪より軍資金の調達の任に當らしめる、各百家長は最近日本軍の走狗となり從來の如く活動せざるを以て武力行爲に訴へ活動せしむること、外交滿駐屯の日軍の情況は逐次詳細報告すること

而して日滿關係當局では右情報を得たので之が對策として取敢ず東邊道警備隊に當て眞相調査を命ずると共に之に備へ嚴重警戒監視中である

興安總署次長

後任依田少將に內定

興安總署次長菊竹實藏氏は豫てより辭任すべしと傳へられてゐたが、今回愈よ辭任を決意し已に辭表を提出したので近く閣議を開き辭任聽許さるべく、後任には滿蒙の第一線に其勇名を轟かした前旅團長依田四郞少將に內定不日決定發表の筈である

スピードアップ內容

〔大連七日發國通〕滿鐵々道部旅客課ではスピードアップ並に滿鐵系統の改善等に努力しつゝあるが明年十月を期し實行すべく計畫してゐる案の主なるものは、大連新京間に現在の「ハト」よりも一時間を短縮する急行一ケ列車を增設、更に大連奉天間に新たに一往復の區間急行列車を設置するもので、奉天新京間より奉京の急行列車「ひかり」を新京迄延長する、從つて奉天新京間は大連新京間の增發と相俟つて都合二往復新設となる、此の計畫によつて內地方面との連絡を益々緊密にし以て旅客の利便を計らんとするものである

七日迄の 內政會議で

意見一致を見た諸點

〔東京八日發國通〕七日の內政會議で一般論を終了、明瞭な決定論は得られなかつたが左の點で意見の一致を見た

一、農村の精神作興を始め先づ豫算を要せずして解決し得る方策を詮議すること

一、全國畫一主義を排し地方分權樹立を方向とし各地方別の對策を樹立すること

一、右對策を一時に並行的に實施せず最も緊急な事項より順次實行すること

一、各部門とも國家統制と並行して立案すること

第五次會議から

農相案を中心に具体審議 各省の參考案も出る

〔東京八日發國通〕農村問題に關する內政閣僚會議は七日の第四次會議に於て一般的討議を打切り、次回十二日の第五次會議より後藤農相の提案を基礎に具体案の審議に入る事になつたが、前回の會議に於て各自參考的に具体案を提示する事を申合せた結果この趣旨に基き荒木陸相は數日前齋藤首相の許に陸軍省の參考案を提出し、七日の會議劈頭堀切翰長より各閣僚に印刷物として配布したが、陸相案の大要は左の如きものである

一、農村社會生活の安定、現在の都會偏重主義を排し、工業方面に於ても工業の地方化を圖る

一、農村負擔の輕減、義務敎育費の國庫負擔並に公租公課輕減を圖る

一、農村金融制度の改善、農產物の價格吊上げ並に之が維持を講ずる事

一、一方貨幣偏重による農村への惡影響の除去

一、都市制度の改革

東株理事長 就任を拒絕

黑田大藏次官

〔東京八日發國通〕東株理事長の內交涉を受けた黑田大藏次官は各種の事情考慮の結果七日午後五時高橋藏相を訪問藏相の意向を質した後拒絕するに決し八日其旨回答した

關西當業者 說得に

吉野次官西下

〔東京八日發國通〕關西側當業者說得のため吉野商工次官西下したが、次官だけで說得出來ない際は中島商相の西下を求めることゝなつた

電力聯盟米貨債利拂ひに

弗貨支拂ひを申合す

〔東京七日發國通〕電力聯盟は七日午前十一時半銀行集會所に委員會を開催し米貨債利拂ひ問題につき協議の結果、ボンド貨支拂ひを否認し、弗貨一方とする旨を申合せた

ポーランド少年團

幹部が來滿

〔大連七日發國通〕ポーランド國ボーイスカウトの幹部ブランツ、ノブウッキー(三三)氏は五日上海から飄然と來連した、同氏は全世界の少年團を觀察のため數年前世界無錢旅行を思ひたつてポーランドを出發、歐洲各國を巡歷して印度を經、廣東、南京、上海を通過して來連、紀伊町ルツクスホテルに投宿したもので、近く大連を出發、奉天、新京、ハルビン等を廻り朝鮮經由、日本に渡り濠洲、アメリカを經て歸國すると云つてゐる

佳木斯野戰 局長松

公金橫領で新京軍法會議へ

〔大連七日發國通〕公金橫領の廉で大連憲兵分隊に檢擧された佳木斯野戰郵便局長松井仁太郞(三〇)は罪狀明白となり、七日午前八時發列車で新京軍法會議に押送された

要塞地帶をカメラに收める

怪外人擧げらる

〔京都七日發國通〕七條署ではウインナ生れと云ふボルグ、ブルツト(二三)を極秘裡に檢擧取調中であるが、江の島その他要塞地帶の寫眞を所持して居り、十月二十三日神戶上陸後下關、宇品、橫須賀方面を旅行して居り不審の點多く重視されてゐる

今夏來ソ政府が 逮捕せる

罪人約八千名

〔東京七日發國通〕某筋着電によれば今夏以來ソヴエート政府が反亂罪として捕縛した人數は約八千人でその內容は間諜、彈藥庫、通信機關の破壞等である、右の中には赤軍將兵千名も含まれて居ると

人事往來

▲松下海軍中將以下九名(練習艦隊司令官)七日午後三時一十五分ハルビンから歸京 日午後四時三十分發奉天、

▲邢士廉氏(吉長地區司令)七日午後九時三十分發吉林へ

▲野田清一郞(工科大學校長)七日午後七時三十分着旅順から

▲山下中佐以下〇〇〇名(獨立守備隊〇〇隊)八日午後四時五十五分發奉天へ

▲田代少將(憲兵司令官)八日午前六時三十分發吉林へ

▲竹德中佐以下〇〇〇名(步兵第〇〇隊)八日午前六時四十五分發新站へ

▲荻原少佐(關東軍司令部)八日午前七時着奉天から

▲孫其昌氏(黑龍江省長)八日午前八時三十分發哈市へ

▲于鏡濤氏(哈市鐵路警處副長)同上

▲八田嘉明氏(滿鐵副總裁)八日午前九時發大連へ

▲十河信二氏(滿鐵理事)同上

▲河本大作氏(同上)同上

▲阿比留乾二氏(元司法部總務司長)同上

▲小林少將(駐滿海軍部司令官)同上

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

品目		
倫敦銀塊 現	一八片一六才二	[illegible]
同 先限	一八片一六才二	[illegible]
紐育銀塊	四三仙八分三	[illegible]
孟買銀塊	五五留十八才七	[illegible]
米英爲替	五弗〇九四分三	[illegible]
米日爲替	三一弗〇〇	[illegible]
米支爲替	三三	[illegible]
スチール株	四六弗一二才一	[illegible]
アナゴンダ株	一五弗〇〇	[illegible]

▲上海標金

現物 一月限	[illegible]	一〇仙一五
三月限	[illegible]	九仙九四
五月限	[illegible]	九仙九六
七月限	[illegible]	一〇仙一〇
九月限	[illegible]	一〇仙一三
十一月限	[illegible]	一〇仙五三

◎止 高値 七〇三一〇 / 安値 六九八〇 / 本寄 七〇〇六〇 / 步値 七〇一五〇 … 七〇〇一〇 七〇一〇〇 六九九六〇

▲上海日本向 第一回 一〇八五〇 一〇八七五

▲上海倫敦向 賣値 一志三片八才五 買値 [illegible]

▲上海紐育向 賣値 三三弗八分五 買値 三三弗六分二

▲大連金鈔票 現物 一二六〇〇 ◎近限 寄付 一二五五〇 步値 一二六〇〇 ◎先限 一二五五〇 出來 不申

▲大連上海向 出高 [illegible] 引値 [illegible] 高値 [illegible] 安値 [illegible]

▲大連煙台向 九七二〇〇 九七三五 九七三五〇

▲阪神日米爲替 第一回 三〇弗四分三 三一弗八分一

各地市場

▲大阪株式

大株新	一三一八〇	一三一九〇
大紡新	一三六三〇	一三八五〇
鐘紡新	二四四八〇	二四四七〇
同新	一三五七〇	一三五七〇

▲同短期 大新 [illegible]

▲大連株式 大新 [illegible]

▲大阪三品 當先 [illegible]

▲大阪棉花 當限 一月限 二月限 三月限 四月限 五月限 先限 [illegible]

▲大阪期米 當限 先限 [illegible]

▲仁川期米 當限 中限 先限 [illegible]

▲橫濱生糸 現物 當限 先限 [illegible]

▲神戶豆粕 一月限 二月限 [illegible]

▲カルカッタ麻袋 [illegible]

新京市況

▲大連特產 ◎麻袋 現物 十二月限 一月限 出來高 [illegible]

◎大豆 現物 十二月限 一月限 二月限 三月限 四月限 [illegible]

◎豆粕 現物 十二月限 二月限 [illegible]

◎豆油 現物 [illegible]

◎高粱 現物 十二月限 一月限 二月限 三月限 四月限 [illegible]

糧豆現物 特產 大豆 現物 八、九四 出來 七車 / 高粱 四、一〇 七車 / 小豆 九、二〇 二車

錢鈔 鈔票對金票 現大洋對金票 國幣對金票 現大洋對鈔票 [illegible]

外敵の襲來に
商業學校で就職運動に大童
華語と露語のお影で やっぱり引つ張り凧

好況の二字におごる新興滿洲國は求職者の汎濫で職業戰線まさに大異常の觀がある、卒業の期を

『目捷』にひかへた內鮮の各學校では早くも卒業生の賣りこみ場所を滿洲に求めて懸命の奔走をしてゐるので本年まで毎年就職百パーセントの好成績をあげてゐる新京商業學校でも今年は外敵侮り難しさして就職主任の神崎教諭を陣頭に數日前から愈よ本格的運動を開始し、東校長は目下大連方面へ出張して銀行、會社その他と直接交渉を行ひ一方滿洲國內の各方面は七日それぞれ就職の依頼狀を發したが同校の明春卒業すべき生徒は六十五名、そのうち就職希望者は四十四、五名で既に中央銀行から五名、國際運輸から

『數名』の申込みがあり學校では今後の運動一つでは全部の就職はあまり困難でないさみてゐる模樣でこれについて神崎教諭は次の如く語る

何さま內地や朝鮮方面からの就職運動が激しいので本年はどうかさ心配してをりますが、本校は內地の學校さ異つた華語、露西亞語を正科さしてをり滿洲向きの教育がしてあるのでその點はたしかに就職への強味であります、華語の一等試驗は外語などを出た人でもなかく合格しないのでありますが、明年の卒業生のうちには一等をパスした生徒が四人もをり、その他の生徒でも華語科の方をやつてゐるもので二等、三等をパスしてゐないものは一人もをりません、給料は本年の卒業生は滿洲國への八十五圓が最高で最低五十圓、大部分は七十圓から七十五圓でありましたが今中央銀行から來てゐるのは六十五圓さいふことで本年より十圓さがつてをりますからその他の方面も幾分さがるのではないかさ思はれます

河原林、寺町兩氏 效續賞追授

去る三日安奉線湯山城、高麗門間高力信號場新設工事警備中突如匪賊數十名來襲し所員協力防戰に努めるさゝもに急を告げ結麗に待機中の第〇裝甲列車の出動を得てこれを擊退することを得たが、不幸にして警員河原林賢一氏は賊彈に殪れつひに職に殉し、同僚傭員寺町部合雄氏も亦匪彈に重傷を負ひ收容の途中つひに殉職した、兩氏はその犠牲精神の熾烈にして職務に忠實に社員の龜鑑たるを以て七日附で效續章並びに金一封を追授され彰された

黒崗屯の殺人犯人 罪狀明白となる

去月廿五日長春縣黒崗屯街上に於て追剝の目的を以て通行人李清和、馮天珍兩名を襲ひ李を撲殺、馮に重傷を負はせて逃走した犯人長春縣城西堡農業徐俊林（二六）は廿九日自宅で官憲に逮捕されて以來新京附屬地憲兵分隊に廻され嚴重取調を受けて居たが、罪狀明白となつたので、七日一件書類と共に身柄は首都警察廳に移牒された尚共犯者朱連山（三一）は未だ逮捕に至らない

スケート界の兩花形を招聘 西公園で妙技公開

地方事務所社會係では滿洲スケート界の花形さして知られてゐる奉天高女の邊見、佐々江兩孃を招聘して來る十日の日曜日午前十時から西公園リンクでフィギャーの妙技を一般に公開することになつたが兩孃はスケート競技界には既に素晴らしい活躍を見せ滿洲では勿論全國的に有名であり、當日の妙技は必ずや一般の人氣を博するであらう

渡邊天洋氏 聖蹟視察

亞細亞學苑代表、東亞聖蹟巡拜團理事渡邊天洋氏は日本佛教界各宗各派の有力者を後援さし約一ヶ月に亘り安東、撫順、奉天、新京、吉林、京圖線、奉山線、山海關、營口、旅順、大連等滿洲各地の聖蹟名山を巡歷し、親しく滿洲國要人及び滿洲僧蒙古僧等さ會見して友交を厚くしつゝ實地踏査に從事中なりしが滿洲の國力全貌視察及び東亞聖蹟名山巡拜團組織準備の要務を果したるを以ていよく十二月十日頃大連出發滿支國境山海關を經由して北支那に入り、年末年初は天津日本租界中日密教會を根據さして北平、美德大同、五臺山、太原、正定洛陽、長安、終南山方面の實地踏査、文獻蒐集、要人及び支那僧侶會見に務め、更に中部支那、南部支那、暹羅方面に赴く由（十二月六日大連明照寺）

〇〇隊來京 明朝六時四十分

〇〇〇隊〇〇〇名は明九日午前六時四十分來京西廣場室町兩小學校で休憩のうへ同日午後六時〇〇〇へ出發の豫定

一般市民も利用してよい 新設の滿鐵倶樂部

新京滿鐵社員倶樂部の經營に關し既報の如く八日午後地方事務所內で評議員會を開き協議したが中央通および白菊町の二つを合せて新京滿鐵倶樂部さし前者は中央會館、後者は白菊會館さ命名することゝし大集會室及び日本間の貸付料金は會員は

大集會室、晝間三圓、夜間五圓、晝夜七圓、日本室晝間（大）二圓（小）一圓、夜間（大）三圓（小）二圓、晝夜（大）四圓（小）二圓五十錢

會員外はその二倍を申受けることにした、なほ會員は滿鐵社員外でも滿鐵社員の最高額さ同じ月額一圓の會費さへ負擔すれば自由に入會出來るので一般でもせいく利用して欲しいさ當局者はいつてゐる

明春入營の 新制幹部候補生 選拔要領概要 ……思想方面も嚴選

納金制の幹部候補生が廢止されていよく明春一月から新制度によつて入營する事さなつた、その入營幹部候補生有資格兵の總數は約一萬三千名の見込である、此者の中から新制度の幹部候補生約六千余名が選拔されるわけであるがその選拔要領は概ね次の樣に決定を見た模樣である

一、幹部候補生は本則さして本人在學間凡ての學校の學校教練を修了し、且其の檢定に合格せる者より之を選拔することゝ但し本年は制度改正早々であるから若干緩和せらるゝであらう

二、幹部候補生の採用は精神的要素即ち志操特に責任觀念、勤務の狀態、統御力、品行等豫備役幹部たり得べき資質の銓衡を主さし、學術科の試驗は學校教練又は軍隊に於て教育せるものに付之を行ひ、之に家庭の狀況等を加味することゝ

但し各部の幹部候補生志願者には、以上の外更に各部專門の筆記試驗を行ふことゝ

三、採用は特に愼重を期することゝ、先づ學校配屬將校の意見、次で所屬中隊長の意見、次に數名の委員を以てする部隊の銓衡次に所屬隊長に於て選拔序列の決定、最後に師團長採用の決を定む、此の採用は入營後概ね三月の後である

四、甲種幹部候補生將來豫備役士官となる者の採用は所屬隊將校全員を以て審査し衆目の可さ認むる者の中より更に嚴選することゝ此の採用時期は入營後概ね六月の後である

五、幹部候補生採用の決定後に於ても、未採用者中成績優良の人材を發見せば、既採用者との交替に躊躇せざることゝ、換言すれば、甲種の者でも成績が惡ければ乙種に落されたり或は最初不成績さ認められて一般兵に踏み止つた者でも、その後成績優秀な者は一躍甲種又は乙種候補生さなり得るのである

新幹部候補生制度の選拔法は以上の如く極めて愼重であるさ共に、精神的要素に力を注いでゐることは一大特色である

文教部の 映畫教育實績擧る

滿洲國文教部では今春以來日滿兩軍の治安維持諸工作さ相俟つて

『各種』の社會教育事業に着手しつゝあつたが、無智な民衆の教育には所謂「目さ耳から」の教育が最も有效、且つ適切なので娯樂の中に社會教化の道德觀を織り込んだ映畫に依る社會教育を行ふ事さなり、その第一回巡廻映寫を奉天省、吉林省、北滿特別區に、第二回はホロンバイル、黒龍江省に夫々約一ヶ月を以て巡廻映寫しだが、此の結果は頗る良好で大いに實績を擧げたので更に十月下旬より月餘に亘り熱河省內に巡廻映寫を行ひ、一回平均三千人の民衆をして觀覽せしめる事が出來た

尙文教部の今回の試みは社會教育の實施さ相俟つて同時に學校教材さしても有效な史劇童話劇が用ひられるので、國民教育の理想たる學校教育の併行化が實現されるものであり、日滿有識者間に於ても

『將來』斯かる民衆啓發工作が着々行はれるものさ大いに期待してゐる

蓮香班妓女が 虐待の告訴を提起

附屬地平康里蓮香班抱へ妓女金富貴（一六）は去る一日姿を晦し、屆出により新京署で搜査中のところ金は突然蓮香班主人を相手取り虐待の告訴狀を首都警察廳に提出した、同廳から九日新京署に事件を移牒し目下虐待事件に就き取調べ中である

山口副參事の 遺骨を迎へて 新京、奉天で盛大な追悼會

曩に大泡子に於て匪彈に殪れた山口突泉縣副參事官他二名の死体は洮南縣警察隊及び高木參事官、豐田指導官等の敏速な行動により直ちに洮南を離る九十支里の地點に於て發見されたが、右山口副參事の一行は奉天滯在中の縣長に傳達すべき要務を帶びて自動車を走らせてゐた際極めて近距離から突如匪賊の射擊を受け山口副參事官はその第二彈に頭部を貫通されたもので身には微傷だに負つて居なかつた尙ほ奉天に於ては省公署主催、新京に於ては民政部主催で盛大な追悼會が催される筈で、大同學院側さしては中原學監の一行は既に現地洮南に赴き第一期卒業生代表さして根本、第二期卒業生代表さしては鳥飼兩教務が奉天迄遺骨を迎へに行く事さなつた

故小林伍長 告別式を執行 新京守備隊で

去る二十八日滿鐵線大旺溝領附近で名譽の戰死を遂げた故陸軍步兵伍長小林富雄氏の告別式は九日午後二時から新京守備隊營庭で佛式によつて執行される

藝妓の 性病入院激增

料亭のかき入れ時を控へ新京附屬地料亭の抱へ藝妓が性病で續々入院し料亭主に大打擊

海倫警務局 留置所に コレラ患者か？

（チチハル七日發國通）七日當地某所に達した情報によれば海倫警務局留置所內に約半月前よりコレラらしき患者續出し、本日迄に三名病死、羅病者五名に達したので當局は狼狽し之が對策に努めてゐる

國境ソ聯軍陣地內に 不逞朝鮮人部隊 聯隊長格は安東白と判明

露滿國境地區に於けるロシヤ側の構築せる第一線陣地には多數の朝鮮人部隊のあることは事實であるが五日當地某方面への情報に依れば之れら朝鮮人部隊の活躍は次の如く判明した

現在活躍する朝鮮人部隊は二個聯隊組織されて居る、右は安東白なるものを聯隊長さし興凱湖を中心に附近一帶の東部區域さ一は朴アレキサンドルが之れを指揮してウラヂオから沿海洲に駐屯して居る、此の外トリアード族、蒙古族、支那人軍の二個旅團あり夫々國境方面に配置されて居るがその指揮者は殆んど朝鮮人である、又警察別働隊なるものがあり滿洲國北鐵東部沿線に潛入し本國のゲ・ペ・ウさ密接なる連絡の下に滿洲國の諸情報蒐集に當つて居るさいはれて居る、なほ東寧密山、虎林等の滿洲國內に朝鮮人密偵網を張りパルチザン組織を取り滿洲國攪亂を圖つて居る、目下朝鮮人のパルチザン部隊は中國混成遊擊隊さ〇〇〇〇軍の二つがあり頻りに暗躍を續けて居る

通遼のペスト 眞症と決定

（四平街支局發）既報ペスト容疑者死体研究材料は四平街細菌檢査所に於て研究中の處七日午後四時眞正ペストさ決定各機關に急電を發した

橘の行動は 正氣の發現だ 深作辯護士の辯論

（東京七日發國通）五、一五事件民間側の辯論二日目深作辯護士は藤田東湖の「正氣之歌」を咏ひ橘は水戸義公を慕つて居り、建國以來四回目の正氣の發現ださ、總括辯論をなした

街の日記

巡回蓄音機會

新京地方事務所社會係主催恒例巡回蓄音器會の十二月の日程は次の通りである

孟家屯驛保線十二月七、八日、同驛九、十、十一、十二日、秋火信號所十三、十四、十五日、大屯原種圃十六、十七日、大屯保線十八、十九、二十日、同驛二十一、二十二、二十三、二十四日陶家屯保線二十五、二十六、二十七日、同驛二十八、二十九、三十、三十一日

木炭を焚き 窒息死亡

新發屯中央銀行宿舍建築場大林組出張所使用人石井捨吉氏は八日夜同現場小屋で木炭を多量に焚き就寢したため窒息九日午前十時ごろ死亡してゐるを發見し新京領事館警察署から係員が現場に急行檢證をなした所ガス中毒さ判明した

熊本壽男氏結婚

新京地方事務所庶務係熊本壽男（二七）氏は小野寺同係主任夫妻の媒酌で鹿兒島縣出身川元キヨ子孃（二二）さ十日結婚式をあげ同夜宴樓で親族知己を招待して披露宴を張るはず

食道樂ミカサ 開業

市內三笠町四丁目に食道樂ミカサが八日から華々しく開業された、同家はホールを中に挾み和室が二間あつて簡單な食事を取るに便利である、料理は主人自から庖丁を取つてお客のお氣に召す樣に努めると

柳屋開店披露

大連では三十年來の老舗で大繁昌をなしてゐる柳屋は、首都新京を目指して今度支店を中央通り、吉野町角に新築を急いでゐたがこの程完成したので既に五日から開店披露大賣出しを始めてゐる、七日午後六時から市內各方面關係者十余名を宴樓に招待し開店披露宴を張つた、なほ同店では本店同樣確實な洋品・雜貨を廉價で提供すると

拾ひもの

▲城內西三道街客馬車夫劉黄泉氏は七日午後七時ごろ新京百貨店前で竹タオル掛一台時價一圓を拾つた

▲城內西三道街客馬車夫王軍明氏は七日午後十一時四十五分ごろ三笠町朝鮮料理店金城館前から消防隊前で下車した二人連日本兵が步兵短劍刀帶（二三五九五七號）を置き忘れてゐるを發見

盜難屆

▲吉野町二ノ一〇加藤龍雄氏方へ七日午後十一時から翌午前七時の間に戸外に置いてあつた手曳車一台を竊取された

▲城內東三道街二十一番地蔡曜城氏は七日午後四時三十分ごろ新京百貨店で暴口一個在中八圓を竊取された

▲日本橋通八十五番地新京館內千葉誠氏所有の自轉車一台を新京百貨店南入口においてあるを午後三時ごろ竊取された

花街の噂 よく似た妓

こりやア千鳥の太郎ぢやないか、然しよく斯う若々しくうつしたものだ、寫眞屋の技術が巧いんだね、など、氣の早いお方はあつさりかたづけてしまふかも知れませんが、こりや千鳥の太郎姐さんではありません、寫眞でも似て居りますけれど

×

實物を見るさ、誰しも一度は「チエこの妓はどこかで見たやうな、ウムさうだ千鳥の太郎にそつくりだが、あれの妹かな」と云ふやうに考へないものは無いでせう、が、太郎姐さんさは何の緣もゆかりもない他人ださうです、八千代館の照千代さ申しまして

×

こないだ八千代の女將が內地みやげに持つて歸つた、イヤ抱へて歸つた新京の粹士への贈り物、まだ馴れないので、頗るおさなしいやうですけれど、やがては、大に新京の粹士連をなやますことになるでありませう

×

この寫眞、馬賊の親分にこの照千代だけは人質にさらつて行かないやうに頼んでやるさいふ條件で失敬して來たものです、ほんまにたのんでくらはるか、あゝ大丈夫だこれを見せてたのんで置けば決して連れに來やしない、さね

慶安異聞 艶魔地獄

（講上演 映畫化）

玉水三郎

（畫）長谷川小信

（百十四）

愈よ報復（一）

此方は青山主膳が、大恐慌を來して、加賀爪甚十郎、松平紋太郎の二人を呼び、用人井倉源太左衛門も、其席に列ならせて、

『扨殘念千萬の儀が差起つた。折角今日まで御兩所に、御配慮を願ひ居りたる所の、町奉行酒井因幡守の爲す處だが、甚た以て其意を得ぬ」

『ナニ因幡守が、何と致したか、彼の謀叛人餘類に關しての事でござるかな」

『左樣、此度二代將軍二十三回忌御法要に就き、廣く大赦を行はれる事と相成つたが、折角召捕つたる小島三平父子、並に八重の三人を此大赦にかけて了ひしは、誠に以て不當千萬」

『いかさま、大赦は結構な事であるが、普通の火つけ盜賊、人殺しの罪ならば知らず、將軍家お命を縮めんとした高坂甚内の餘類、それを大赦の中に入れるとは怪しからん」

『青山氏、此上は若年寄りへまで伺ひを立てさつしやい」

『待たつしやい、若年寄衆が其大赦の範圍を定めたものか、又は將軍家思召であるか、と、第一に知らねばならぬ處でござる。町奉行が勝手に定めたものか、何うであるかも調べねば相成るまい」

主膳も頷いて、

『いかさま、手前許りで定めて居つたが、町奉行は上の命に依つて大赦を行ふものであるかも知れぬ、然らば因幡守へ問合せやうか」

『イヤ〳〵、それも何となくおかしい。之は大久保老人へ尋ねるが早からう」

『オヽ、彦左老人ならば、大赦の範圍は存じて居らう。手前一人にて參り、早速承はつて來やう」

茲に甚十郎が引受ける事になつた。

主膳はモウいら〳〵として、腹立たしさにゐても立つてもゐられぬ容子。

之を宥めた加賀爪甚十郎、即刻駿河臺の大久保邸を訪れると、彦左老人ニコ〳〵もので。

『ヤア加賀爪、何うした。能く參つたな」

『ハツ、御老體には大分御機嫌が好いやうでござるな」

『フム、今日はな、二代樣御法要に先立ち、囚人共へ大赦を仰出しになつたので、三代樣の其仁慈海の如きに感じて、何となく有難くも亦嬉しく、唯今東照神君のお噂を追憶致し、一杯やつた處ぢや」

『さ、手前も其大赦の事で、承はりに參りました」

『オヽ、左樣か」

『此度の大赦は、如何なる囚人へ仰せ渡しになりますものか、又は町奉行一個の計らひで、其赦免と否とを判斷致すものにや、それを承はりに參りました」

『オヽ、其事か、それは俺へ、上樣からお尋ねがあつたので、忌憚なく往昔より例を申上げて、先づ死罪と定まつた者は遠島に、其他普通の火つけ盜賊、押借などは皆切り放しに致して了つた。其中兇惡なる者は、町奉行見込みに依つて、其罪を幾分輕くする事にした。然し長上に對しての罪、親殺し主殺しは、大赦の恩典には洩れるのだ」

『左樣ならば、神君御法會の折柄芝增上寺に於て、三代將軍家を害はんとせし者は、此恩典に浴せませうや。此儀は如何でござる」

土曜 己酉 先勝 收 柳宿
舊十月廿九日 十二月二日

●一白の人　驕奢の心を壓へて萬事の縮少を謀るに宜し　乙と丙と申が吉
●二黑の人　十分と思ひし事も行惱みを生ず失物亦注意　辛と亥と丑が吉
●三碧の人　苦は樂の種と辛抱して本業に出精すれば吉　丙と申と寅が吉
●四綠の人　識らず知らず深入して處置に苦しむ事あり　乙と丙と申が吉
●五黃の人　氣を締め油斷なく勵むときは大望も成べし　庚と亥と午が吉
●六白の人　方針を換えず從前よりの進路を辿るが安全　丙と丁と戌が吉
●七赤の人　衆望を擔ひ大に成す所あるべき盛運日なり　丁と辛と亥が吉
●八白の人　人のため氣の進まぬ事ありとも盡力すべし　庚と辛と戌が吉
●九紫の人　長上に從ひ部下に憐みを懸けて職務に勵め　甲と辰と壬が吉

大阪商船出帆

門司、神戸（大阪）行
×三等船客設備船（午前十時大連出帆）

うすりい丸 十二月十日
ばいかる丸 十二月十二日
×しあとる丸 十二月十三日
亞米利加丸 十二月十四日
うらる丸 十二月十五日
はるぴん丸 十二月十七日
×たこま丸 十二月十八日
香港丸 十二月十九日

●切符發賣所
滿鐵沿線主要各驛及各地ジヤパンツーリストビユーロー案內所
●船車連絡切符（往復切符ハ汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ケ月）
大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符ハ復路運賃二割引通用期間三ケ月）
●專屬荷扱所
各地國際運輸會社支店
大阪商船株式會社 大連支店 電話四一三七番
奉天出張所電話四〇八九番
新京出張所電話二二二六

新京日日新聞
新京永樂町四丁目一番地 新京日日新聞社 發行所
發行人 十河 忠男 編輯人 松本 勇二郎 印刷人 谷 澤

わが軍の機敏さに外人連の驚嘆
國際列車襲撃事件に際して初めて實際を知る

（チチハル七日發國通）去る十一月廿六日ハ藥子に於る匪賊の國際列車襲撃の際同乘の日本軍が直ちに之れと應戰短時間にして之を撃退せる行動を目撃した英佛獨人及び赤白系露人は滿洲里に於て一般住民に對し左の如く日本軍の機敏なる行動を激稱してゐる

赤系露人（赤系乘務員、同乘客綜合談）廿六日夜列車は一瞬にして顛覆した、乘客一同は愕然として色を失ひ、現場は忽ち混亂に陷つたが突如銃聲を聞きはじめて匪賊の襲撃と知つた、當時列車に便乘中であつた日本軍人〇〇名は直ちに下車機敏に一部は白雪上に散開し、一部は後方に廻り旅客の護衛に當つて呉れたのを見て感謝の涙にむせんだ、我等は今日迄滿洲に於ける日本軍の政治工作或は軍事行動を常に疑惑の目を以て感じて居たが、この機敏なる旅客を思ふ一念の行動を見て日軍に他意なく只東洋和平の爲邁進し居る事を痛感し日本軍に對する感情は一變した

白系露人（ジタヨノフ氏妻）日本軍なかりせば再び滿洲里を見る事不可能であつたらう、九死に一生を得られたのは只々日本軍の機敏なる行動に依るものでたゞ感謝の外ない

英國人（シドラーアル、ペニング氏）自分は日本より歸國の途にあつたものであるが廿六日夜の襲撃事件には全く驚愕の外なく心外の至りで、若し日本軍が便乘してゐなかつたらば吾々乘客は全部悲慘なる運命にさらされたであらうが、幸ひ日軍の爲九死に一生を得た事は實に僥倖で滿洲國の治安確立は日本軍の強き力を以てせば近き將來にあらう

獨佛人（姓不明）列車顛覆並に列車の襲撃に際しては極度の恐怖驚愕のため日本軍の行動は確認出來なかつたが、當時を顧みて日本軍將兵がかくの如く勇敢沈着に應戰し、犧牲的行動により乘客を安泰ならしめたるは驚異に値する、吾等は少數の日本兵と同乘したるため生命財產の保全を得たことを深く感謝し且つ日本兵の態度に對し滿腔の敬意を表するものである

滿鐵改組大綱意見全く一致
新京會議漸く一段落

八日午前より參謀長室に於て軍側各委員參集、聽取せる滿鐵改組問題の討議は午後に至つて滿鐵側の來案を求め兩當局關係者一同懇談を遂げ、討議を重ねた結果、愈よ大綱に關して兩者の意見完全に一致を見るに至つた、今なほ本問題を具體化すべき方法を引續き研究することゝして深更に入つて一先づ解散した、斯くて日ならずして在滿各機關の諒解支持を得べき現地案は完全に成立の運びとなるであらう尚八田副總裁一行は九日朝大連に歸り之を以て新京會議は圓滿に一段落を遂げた

問題は中央へ
兩總裁いそぎ上京

（東京八日發國通）滿鐵改組の現地交涉には昨七日に終りを今八日朝八田副總裁、十河理事兩氏は新京より大連へ引揚げたい なほ林、八田正副兩總裁は十日か十一日に出發上京し、問題を中央へ移す筈である

外務省新任巡査
六十餘名來京

外務省新任巡査六十餘名は北方任地に赴任のため九日午前六時着列車で來京した、一行は八日午後三時二十五分着列車でハルビンから新京まで迎へに來た山川警部に引率されて九日午前八時三十分發列車でハルビンへ向つた

御下賜の「眞綿」を捧持
町村宮內書記官けさ七時來京

長途より御下賜の眞綿を捧持し來滿せる町村宮內書記官は九日午前七時入京することゝなつたが、同七時半關東軍司令部營庭に於て菱刈司令官に對し關東軍將士大使館員並に關東廳員に對する御下賜品目錄を傳達し、續いて駐滿海軍司令部に於て小林司令官に對し在滿海軍部隊に對する同樣御下賜品目錄を傳達することになつてゐる、尚同宮內官は數日に亘り第一線部隊を歷訪し帝國の生命線を守る皇軍將士の困苦艱難の態を審さに視察することゝなつた

米紙の捏造記事にわが外務省の憤慨
總領事を通じ嚴重抗議せん

（東京八日發國通）米國言論界に、その權威を自他共に認められるカレント・ヒストリー紙はその十一月號に於て現プリンストン大學教授チレルデチツト氏の「增大しつゝある日本の戰爭熱」なる『論文』を發表してゐる、論文中に廣田外相との會見談として日本生產黨總裁內田良平氏が發表した聲明書中の一部即ち

米國にして眞に日米關係の解決にその意を致さば、先づ速に排日移民法を撤廢し日本移民の入國を許すべし同時に滿洲問題等に於ては日本の行動に信賴して全然干涉を加へざるべしワシントン、ロンドンの兩會議は名は平和會議にかくれる一種の海戰にして米英聯合の下に日本を屈服せしめるものなりと目すべし

とある句を故意に廣田外相談となし排日的言辭を弄しつゝあるが、我外務省は積極的に日米親善に乘り出してゐることの際、權威ある彼等ヒストリー紙が斯かる『捏造』記事を掲載し米國智識階級まで惑はされるを遺憾とし、近くニユーヨーク總領事堀內謙介氏を通じて同紙を發行するニユーヨーク、タイムス編輯長並に筆者デチツト教授に嚴重なる抗議をなすことゝなつた

佐藤、武田兩中將入京

今回滿洲の某要職に補された佐藤、武田兩中將は十日午前七時新京着、十一日午前七時來京する井上獨立守備隊司令官と待合せ打揃つて午前九時二十分菱刈司令官を官邸に訪問し軍狀報告をすることゝになつてゐる、尚同日三中將は溥儀執政始め滿洲國要路を歷訪、挨拶を述べる筈である

有田大使視察日程

來滿中の有田大使は八日午前十一時吉林より新京に歸り九日午前十一時二十五分飛行機にて新京發ハルビンより新京に十日午前歸來、同夜謝外交部總長の招宴に臨み十一日愈よ新京を發つて南下、同夜は奉天に一泊十二日飛行機で錦州に赴き、十三日錦州より飛行機で香港に赴き、十四日南京に到着、

荒木陸相の農村對策內容
內政會議に配布

（東京八日發國通）昨七日の內政會議に荒木陸相が配布せる農村對策案は

一、農民生活安定のため負債の整理と負擔輕減問題につき慎重考慮す
一、農產物價格安定のための維持策を講ず
一、貨幣價値變動による農村の購買力變動を少くするため之が防止策を考慮す
一、農村對策案は國防に重大なる關係を有するもの故農村對策は五相會議で決定の國防方針と關連し考慮を要す
一、右の內應急策と恒久策に分け、應急策には相當の追加豫算を出しても急ぎ着手すべし恒久策は徹底的に調査し實行に移ること

農相案內容

（東京八日發國通）後藤農相の農村對策案の內容は精神作興を基幹として愛國愛土の精神を養ひ、篤農家を養成してこれを農村に配置し全國の農村を指導せんとするものである、即ち今後の自力更生は政府の援助指導のみでは實際的效果が擧がらないから、適當な各主要地へ百姓道場を設け政府及び地方廳あり相當の補助をなし、地方に於て篤農家候補を銓選して入所させ二ケ年間に亘りスパルタ式訓練を施し、道場は山嶽の荒地を選び各自開墾より收獲に至る全部の經營の體驗、研究をさせ指導者として完全な域に達したる者は漸次歸農させ地方農村の模範、中堅となつて指導し全國の農村を更生の途に着々辿らしめるといふのである

滿鐵改造に伴ふ傍系會社廢合
滿鐵監理課で審議

（大連八日發國通）滿鐵監理課では改組問題實現に際し當然起つて來る傍系會社の廢合につき研究中であるが、新時勢に乘つた各傍系會社は殆んど一率に營業狀態立直り、二三の會社を除きめきめきと業態の改善をみつゝある現狀であり、整理會社は殆んど稀であると觀られて居るが、所謂新組織下に於る會社としての組織形態に就ては產業別、部門別、組織業態別等種々の研究案を目下作成審議中である

ハイラル駐屯の關東健兒凱旋
驛頭盛んなる歡送

（ハイラル七日發國通）滿洲事變以來各地に轉戰赫々たる武勳を舉げ、近くは吉林大討匪行に其の名を謳はれた東京茨城、埼玉等の關東健兒約〇〇〇名は篠田騎兵中尉及び護衛兵三十名と共に七日午前五時卅五分發、無事大任を果し凱旋したが、海拉爾驛頭には膚をつんざく寒風をものかは宇佐美、高波兩將軍及び領事を始め、數百名の日滿官民が熱誠なる歡送を捧げ集り朝まだき曠原の空を振はす萬歲の聲に送られて諸兵は今や治安完成した思出深きコロンバイルの山河を後に勇躍、一路歸國の途に就い尚は同部隊は內地に歸還の上除隊するが、この中より十五名は近く國境警察隊に採用される筈である

馬占山と提携して再び反滿運動
性懲りもない唐聚伍

義に東邊道に於て反滿抗日の運動に狂奔したが、その工作運動殆ど失敗に歸し、日滿軍の手を逃れて北平に潛入した抗日民衆自衛軍總司令唐聚伍は再び滿洲國擾亂を劃策し、最近秘かに北平の何應欽を訪問し王化一（北平救國會幹部）盧乃庚（救國會幹部）等と協議の結果今後は馬占山と提携し再び反滿運動を企圖するものと觀られてゐる

氏は今回同職より引退するゝ共に歐米視察の旅に出ることゝなり、八日午前九時新京を出發したが驛頭には濱司法部總長以下多數の見送り人あり盛大を極めた

またペストで列車取扱中止
通遼では停留檢疫

通遼方面のペストもやうやく下火となつて鐵路の旅客、小手荷物貨物の制限輸送を解除しつゝある今日、またく六日通遼市內に發生せるペスト容疑者の檢菌をなした處果々陽性と決定したこれがため旅客手荷物は左の通り取扱中止をなすこと

一、鄭通線馮家窩舖、通遼間各驛は自驛發旅客手荷物の取扱を中止す
二、通遼では停留檢疫後五日して乘車せしむ
三、貨物の取扱は從來通りとす

滿洲國辭令

任馬政局技正（薦任六等）　重田恒輔
國務院法制局參事　佐藤正一
任國務院總務廳秘書官（薦任七等）命兼國務院法制局第一部兼務
任商標局事務官（薦任六等）　美濃部洋次
任商標局事務官（薦任七等）各通　廣瀨松夫　烏谷富雄
盤山縣參事官　垂井徵應
命休職

鄭國務總理
有田大使招待

鄭國務總理は八日午後八時大和ホテルに來京中の有田大使を迎へて歡迎宴を催し、滿洲國側要人、軍、大使館員多數列席の上歡談を盡した、因みに同大使は本日午前十時執政府に溥儀執政を訪問する筈である

谷參事官
ちかく歸任

我國の對滿政策に關し本省と重要打合せの爲上京中であつた谷參事官は要務を終へ十一日東京發歸任の途に就くが同參事官は歸路鄉里鹿兒島に立寄り新京着は十五日過ぎとなる模樣である

阿比留氏離京

前司法部總務司長阿比留乾二

松岡洋右氏いよいよ脫黨
同時に聲明書發表

（東京八日發國通）松岡洋右氏は八日政友會脫黨と同時に大要左の如き聲明を發表した

今や我民族が世界の平和と人類の文化に對し、一大使命を遂行すべき秋に際し之に處する國民的用意として我國家は全面的革新の必要に迫られつゝあるが、私は其の第一段の工作として政黨解消を主張するものである此の際一切過去の行懸りに拘束されることなく、先づ以て、政黨解消をあつさり斷行することすら困難なる狀態にては國家革新の如きは思ひもよらざる事だと考へる、旣に斯くの如き確信を抱懷する以上、私自身政黨に止まることは矛盾を感ずるが故に、玆に政友會を離脫し虛心坦懷政黨人に對しては勿論廣く全國民に對して所信を披瀝し、之が遂行に努めんとするものである、而假にかかる所信を離れ單に私一個の立場に就て考ふるも、今日以後政黨を去り、全然超黨派的立場に身を置くことが多少なりとも、より效果的に奉公の微衷を致す所以だと信ずる

自念披瀝のために講演

（東京八日發國通）八日政友會を脫黨し、代議士も辭職することゝなつた松岡洋右氏は昨夜九時四十五分東京發、廣島に赴き十日同地に開かれる中國六縣聯合の帝國在鄉軍人大會に臨み講演をなし更に廣島文理科大學でも講演を試みた後鄉里三田尻に歸省し、本月十六日頃上京翌十七日東京に於て第一聲を舉げ自己の所信を國民に訴へ、更に出來るだけ全國的に講演をなす筈である

脫黨した松岡氏にその心境を聽く
政友で働くは不合理
松岡さん語る

（東京八日發國通）八日午前鈴木政友會總裁との會見を終つて麴町の自邸に歸つた松岡洋右氏は左の如く語つた

自分が政友會の爲め働くと云ふ事は不合理なことであつて、そのために壽府より歸朝以來苦しんで來たし『政友』會としても斯る自分を除名すべきだと思つてゐたが、此際自由な立場に立つて働く意味から脫黨すべきだと云ふ結論に達し、本日脫黨屆を小林代議士をして山口幹事長に提出せしめると同時に此の意思を傳へるため總裁を訪問した、總裁は政友會に留つて國家のために盡して貰いたいと懇切丁寧に賴まれたが、自分の心事を吐露して諒解して貰ひ今迄の友誼と好意を感謝して別れた、自分は又衆議院議員を辭するために屆けを提出したが、之は自分が政友會の公認候補であつた以上、脫黨の今日辭めるのが當然と思つたからだ然し自分は決して『議會』政治を否認するものではない、自分の觀點は政黨がなくとも議會政治は行はれるし政黨政治は日本の國情に合はぬと云ふ點にある 從來自分に對して色んな事が傳へられてゐるが自分は何人とも連絡もしなかつた、今後の自分は過去の松岡を淸算して全く空手丸裸となつて日本國民に訴へ樣と思ふ、自分が眞に關心を持つてゐるものは政治運動でなく精神運動だから政黨と鬪爭するために起つのでは決して無い、脫黨屆を出した日は今偶々自分にとつて生涯を通じて忘れることの出來ない『記念』すべき日である、それは昨年今月今日自分は『聖天子東方にあり、東天を拜す』といふ氣持で聯盟總會に臨み、聯盟に對し巨彈を放つた日である、その後一星霜、今日全く自由の身となつて新しい第一歩を踏出すことは誠に感慨深いものがある

議員も辭任するか

（東京八日發國通）先般來政友會脫黨を傳へられて居た松岡洋右氏は八日午前十時鈴木總裁に脫黨屆を提出した、尚議員をも辭する模樣である

歳末景氣は まづ花街から

料亭、飲食店、カフエーとも なかなか凄い鼻息

走の月に入つて、先へ寄れ師ば寄るほどこんで來るといふので、官廳銀行會社等々たんまりボーナスを懐にしたり或ははいる豫測のついてゐる向はポツポツ大小の忘年會を催すので、料亭側も之に備へ匾々になつてゐる月一回の公休日を多くは上旬に繰上げてすまし、さア來い來れさ『腕に』撚りをかけて待ち構へてゐる、新京第一料理店組合に屬する大小の料亭四十九軒舊競馬場跡の永樂町梅ケ枝町にまたがる地域、既に開業した扇芳亭を始め今年中に店を開かうさする新京三業組合に屬する七軒、新京料理店組合つまり新京城内外から寬城子へかけての三十六軒の藝酌婦十二月一日現在で七百二十六人もある、それに滿人の料亭に稼ぐ女が附屬地に九百九十附屬地外に七百十二人さいふ恐ろしい數である『飲食』店が百十八軒今年中にまだ廿六軒殖へる、こゝらの女中が百十一名、カフエーバーは附屬地外の分は聞き洩らした、地内で三十六軒、女給が約二百五十、どうもこの女給くらひ移動性の多いものは無いゆうべ居たかと思ふと今夜はよそにといふのが多いので確定した數が判らぬ尚料亭の仲居が八十六人、これらは何れも玉代、花代、チップで働く連中でその何れもがボーナスで膨れてゐるだらうところの『客の』懐にねらひをつけてゐる譯で、客はまた客で各々鼻息あらく、三井三菱を親類にもつてゐるやうな顔で振舞ふのもこれからである

全滿氷上競技聯盟 新京も參加す

あす奉天で發會式を擧行

別項全滿氷上競技聯盟は奉天に事務所をおきいよいよ明十日午後一時から奉天滿鐵社員クラブで發會式を兼ね創立總會を開催新京体育聯盟スケート部でも七日の打合せ會でこれに加盟することに決定したので當日は代表を派して提案をなすはず

選手權大會豫選

新京体育聯盟スケート部では別項の通り來週スケート短期講習を催すがこれが終了後引き續いて來春一月十三、十四日の兩日奉天國際運動場リンクで開かれる全滿氷上選手權大會豫選を行ふに決定した、なほ奉天での大會の種目その他は次の通りである

一、種目　スピード男子五百千五百、五千、一萬（全種目滑走のこと）女子五百、千五百、フキギヤー男子第四第十四、第二十八A、第二十八B、（總點三十六點）女子第一、第七、第十（總點十八點）フリースケーチング男子三分（二十點）女子二分（十點）總點數男子五十六點女子二十八點

一、參加資格、各地方團体の豫選通過者四等まで或ひは地方團體の推薦によるものに限る、何れも各地方團體の手を經て申込むこと

一、申込所日限　大連滿鐵學務課氣付け滿洲體育協會宛　一月五日まで

一、參加料　スピード、フキギヤー共に一人五十錢

殊勳の首都警察廳 みごと人質奪還に大成功

寫眞は人質奪還に成功し殊勳を立てた首都警察廳特務科員と犯人、中央[illegible]長井上警佐、同向つて左手榴彈班長佐藤警佐、座してゐる四名が犯人、向つて右二少年が拉致されてゐたものである

スケート部打合せ

既報新京体育聯盟スケート部では八日午後一時半から地方事務所食堂で役員その他關係者が集まり左記事項打合せをしたがその結果は

一、スケート一般普及の意味において來週透りから一週間西公園リンクでスケート短期講習會を開催、なほ講師は從事中日時も研究中

一、來る十日午前十時から奉天高等女學生佐々江、透見の兩孃を招き新京高等女學校体育聯盟スケート部主催で西公園でフキギヤーの妙技を一般に公開實演する

一、全滿氷上競技聯盟に參加の可否討議（參加と決定）等である

これは困つた 手の長い女給

マルセイユの盜難事件 犯人は内部から

五色にかゞやくネオンサインの下で華やかな女給生活を送つてゐたが遂に惡事を働き別世界である留置場に繫がれの身となつた……市内三笠町カフエーマルセイユーの女給室から衣類並に現金が頻々として竊取されるため新京署に屆出た同署では同カフエーの内部その他女給につき内査を進めてゐたところ周圍の事情から押して女給の所爲とにらみ八日午後二時ごろ池田刑事部長外井上、池永、日高の各刑事は容疑者として祝町二丁目居住同カフエー女給テルコこと高田テル（二二）を引致し取調べたところ容易に泥を吐かなかつたが各刑事が續々と證據品である贓品を發見しつき付けると流石に剛情張つてゐたテルコも隱し切れず前記の一切を自白した同人は昨年八月ごろ來京し以來赤玉、滿洲、ポプラ、ミス東洋現在のマルセイユーを轉々と渡り同僚女給の衣類貴金屬を竊取入質してゐたものである

國都醫院の醜い名義爭ひ

それは一体どちらが正當? 双方の言分を聽く

ほど遠からぬ場所に同名の醫院が開業し双方で名義爭ひの烽火をあげたがいづれが正當か、二人はしのぎをけづつて黒白を爭つてゐる、問題の醫院は市内朝日通十九番地國都醫院崔永在、同醫院の經營者宇野孟南氏であるが、兩氏は本年八月八日共同出資で經營をしてゐたが感情問題で二人が分離することになつた、その際同病院の名義並に責任者である崔永在氏は永樂町に開業することになり國都醫院の看板をかゝげたものに端を發したのである

資格ない人に名前は讓れぬ 崔永在醫師語る

問題の渦中にある崔永在醫師は語る

私は昨年十一月朝鮮總督府の囑託派遣醫師として來京し、梅ケ枝町四丁目三十六番地で同年十二月十五日國都醫院として當局に請願許可され開業をしてゐましたところが本年三月宇野孟氏が訪れ自分は内地で醫師をやつてゐたが醫師免狀をもつてないため個人的に開業することが出來ないから二人が共同出資でやつて呉れないか、自分（宇野）は病院に適當な家を借りてゐるから是非やつて呉れと賴まれた、その『當時』出來ないと拒絶したところが六月上旬再び宇野氏が訪れ實は大森醫師と提携したが大森氏が金を出さない關係で工事が進まないから止めることにした、思ひなほして自分と一緒にやつて呉れと申込まれたので私も遂に同意し共同でやることにし工事費を投じ八月上旬竣工したため總領事館に國都醫院の移轉を願出許可されるとともに朝日通に移轉し私が責任者としてやつてゐましたが、一ケ月程共同でやつてゐるうち朝鮮總督府派遣所および知人が君の内では『無資』格者を使用してゐるのではないか、そんなことをすると今に問題が起きるから別れた方が良いと云はれたので、時期を同じくして宇野氏と面白くない關係があつて双方で分離の話を進め私は出資金のうち金二千五百圓を受取り手を引くことにした、その際宇野氏は國都醫院の名を置いて行つて呉れと云ひましたが資格のない人に讓つておくことは絶對に出來ないから今回移轉と同時に國都醫院の『看板』を出してゐる次第で、私は大正九年京城醫專を出て醫師免狀を受けてゐるから別に恥づるところがないです

警察では語る

右問題に關し新京署後藤衛生主任は語る

國都醫院の名義人は崔永在氏である同氏は昨年十二月十五日總領事館に國都醫院開業を屆け許可と同時に梅ケ枝町で開業してゐたのが本年八月朝日通に移轉してゐたのが今回永樂町に移轉したので別段問題でもない許可されてゐる崔醫師が國都醫院を名乘ることは當然だと思ふ

當然その家についてる名だ 宇野孟氏語る

國都醫院の共同出資者である宇野孟氏は同問題に就き左の如く語つた

私は本年二月曙町の益田氏から現在（朝日通十九番地）の家を借り九千圓の資金を投じ崔永在氏と共同で國都醫院を開業することになり八月八日崔氏を責任者として『開業』してゐましたが二人の間に面白くないことが起つたので私は九月上旬から事務の方には一歩も足を入れず分離話を進めてゐましたが崔氏が色々と契約をかへ解決が出來なかつたところ幸にして總領事館警察に勤務されてゐた今江前同署主任並に曙町四丁目十二番地金鳳齊氏二人立會で分離が成立しました、その時崔氏が國都醫院の名義は自分でもつて行くと稱しましたが私はその問題に觸しとやかくは云ひたくありませんから二人で紳士的解決をしようと話してゐる際『突然』崔氏が朝日通の國都醫院は永樂町に移轉したとの廣告を新聞に掲載しましたからあまり面白くないため私も貴紙に國都醫院は從來の處にあると廣告した次第です、自分は六ケ月に亘つて各方面に廣告をし國都醫院を知られてゐるのを今更ら圓滿解決もせずその樣な行爲に出られることは面白く思ひません、國都醫院は現在の家屋についてゐる名であるから崔氏が去つたからとて別に『醫院』名を變へる必要がないと思つてゐる次第です、私はこの樣な問題は表向きにしたくもありません

紀州みかんに漸く凋落の秋

廣島、伊豫、臺灣の三強敵で 果然市場爭奪戰

永年滿洲に紀州蜜柑の名を誇り、輸入蜜柑の王座を占めて居た紀州産蜜柑に漸く凋落の秋が來た、滿洲國成立以來内地各蜜柑産地では蜜柑の滿洲國輸出を企圖し、販路開拓に努めた結果、廣島蜜柑、伊豫蜜柑が昨年あたりより滿洲に進出し、紀州蜜柑の地盤に喰込みつゝあり、更に臺灣ポンカンも臺灣―大連航路の開設以來續々輸入されると共に、滿洲市場の爭奪戰は愈よ熾烈となつて來た

四平街 税捐局を襲つた强盗捕る

去る十一月廿九日午前五時頃四平街東南方二里余半拉山門税捐局は賊團に襲はれ拳銃二挺トランク一ケ現金三十圓其他衣類數點を强奪された事件があつたが、越へて一日四平街署司法刑事一行は當地滿洲街を密行中擧動不審の周又山（二八）劉漢卿（四十）楊財（二九）を捕へた處、彼等の一團は拳銃二挺ダムダム彈數發を所持した賊團で恰かも舊四平街方面に强盗を働き滿洲街に立廻つた處であつた、訊問の結果右は前記税捐局を襲つた一味と判明余罪あるものの如く同署にて引續き嚴重取調中

青年同志會支部發會式

九日午後六時から滿鐵倶樂部ホールで青年同志會四平街支部發會式を兼ね演說大會を開催するが出演者は左の通りである

新京　荒木章　原口純允
四平街　稻川淺次郎　上野一郎

井上日召等の裁判忌避から

酒巻裁判長引責辭任

〔東京八日發國通〕井上日召等の血盟團事件公判はこの夏七月二十八日被告等より酒巻裁判長以下尾後貫、下村兩陪席判事一同に對し裁判忌避の申立を爲した爲公判は全く暗礁に乘上げ何時再開されるか見込みもたゝぬ有樣なので酒巻裁判長は深くその責任を感じ遂に辭任を決意し、最近宇野東京地方裁判所長の許へ辭表を提出するに至つた、被告の裁判長忌避が原因でかゝる結果を見るに至つたことは前例の無いことである、酒巻裁判長は近く地方の裁判所長に任ぜられるものと觀らる

居住消息

▲西村豊二氏（熊本縣）花園町四丁目一ノ五十一號へ
▲本多護氏（大分縣）大連から花園町三丁目三ノ四十號へ
▲三浦英治氏（秋田縣）大連から花園町二丁目一番地へ
▲山縣良雄氏（京都府）曙町四丁目五番地ノ二へ
▲渡邊章一氏（東京市）祝町三丁目九番地中央公館へ

轉居

▲鍛名博氏　錦町四丁目三號から興安胡同四百五番地滿洲中央銀行宿舍へ
▲片瀬晋氏　敷島通り一號から菖蒲町五丁目十號へ
▲竹内寶氏　錦町二丁目三番地から山吹町二番地興安寮へ
▲小山鐵一氏　東一條通りから羽衣町一丁目十番地ノ二へ

▲曙町三丁目五十六號ノ四原田藤太郎氏女榮子さん三日出生
▲老松町二丁目七番地ノ二高橋魁氏長男健雄さん一日出生

氷で滑つて遂に一命失ふ

きのふ新京驛構内で 皆さん御用心!

八日午後三時ごろ新京驛構内貨物線石炭の渡橋上で貨車の連結に從事中の新潟縣生れ貨物係臨時傭勝山修作（二六）氏が氷のために滑り貨車の上から線路に轉落した、その際入替へ中の貨車に胸部を轢かれ人事不省に陷り直に滿鐵病院に收容應急手當を加へたが同三時三十分遂に絶命した

名士の漫談（六）

青年へ警鐘 今は人材維新

南滿洲電氣新京支店長　原口純允氏

一見やさ男のやうにみえる南滿洲電氣の新京支店長原口さんはなかなかそんな人ではない、お年齢は三十六、殖民地には稀にみる熱血兒である碁とか麻雀とかゴルフとかいふやうな亡國的遊技にうかれてゐる時ではないでせう今は國をあげての非常時です、卓を叩いて激するところどうして漫談どころの騒ぎではなく、かなり厚かましくきり出す記者もさすが二の句がつけない

原口氏「私には趣味といつては一つもありません、然し大きな道樂があるので時にどちらが本職か判らないやうな場合があります」

記者「道樂といひますと……」

原口氏「青年の指導です」といひながら「滿洲青年同志會常任理事原口純允」「滿洲修養團理事原口純允」と印刷した二枚の名刺を出す、更に言をついで

私のうちには數名の書生が缺けたことはありません、今でも五人をりますが多い時には十二名もをつたことがあります、維新の覇業をなすものは必ずや野にあるものです、吾々は今その地下水工事をしてゐるのです無名の青年を指導し修養させて一人でも多く國家有用の士をつくることが私に與へられた責務であり義務であると思つて日夜この方面に奔走してをります

記者「隨分お忙しいでせうね」

原口氏「私には暇といふ字はありません、それは飲みに行くこともあるのはありますがこれは交際上やむを得ない時で私から言はしむれば酒や女は無用の長物です」全く石部金吉、これではとりつく島がない、然し氏の石の如き信念と何ものをも燒きつくさねばやまないといふ熱意には不漫談ながら大いに敬意を表しておこう

ラジオ講座

(七) 新京放送局長 加藤誠之

(八)演奏所の設備

演奏所には先程申しました如く演奏室と調整室とを要します、先づ演奏室の設備から申します、此の室はマイクロフォンに聲を送り込む所でして、第一に反響或は殘響が問題になるのであります、マイクロフォンを通じて聞きますと普通には感じない程度の輕い反響も非常に强く感じるのであります、反響がありますと講演などは特に聞き難くなるのであります、反響を防ぎます爲には種々の防音材料で音を吸收さす外構造形狀等も適當に設計する必要があるのであります其の結果室に入るとシンとして大變重苦しく感じ又自分の聲が弱く感じる爲に知らず知らず强い聲を出され直に疲れてしまはれることが往々あります放送をせられます時には成る可く樂な聲でやつて頂く方がよろしいので音量は調整室の方で如何樣にも加減が出來るのであります、反響の程度は夫々の發音体に依し好い程度が變りますが、當局の演奏所も講演には未だ幾分反響があり過ぎる位ですが、然し三味線には多少少ない位、太鼓には非常に弱過ぎると云ふ狀態であります、從て好い演奏室になつては反響の調整が出來る樣になつて居ります

次に演奏室の大きさでありますが、是は講演等には五坪か十坪で足りますが、合奏物になりますと相當の場所を要します、少くとも三十坪位は必要ですが、唯今の所當局の演奏室は十坪位のものが、唯一つあるのみであります、調度類も戰場に贅澤いふは不必要といふ譯でやつと絨氈だけ實入れて貰つたと云ふ仕末で殊に非常時に似合しいお粗末なものであります

演奏室には、マイクロフォンを置く必要があります、其の置き方も色々使ひよい樣に工夫されてゐまして、種々と音樂に對しては夫々のマイクロフォンに適當な距離と方向とかを調べて置いてあります當局に使用して居ます、マイクロフォンは日本放送協會で研究製作したものでありまして可なり優秀な特質を持つたものであります、演奏室には調整室との聯絡を取る爲に種々の裝置が設けられてゐます然し孰れも光を用ふる信號でして、音又は聲を使用するものは使ふことが出來ないのであります、それは勿論、打合せの合圖が放送に入つて來るからであります

以前AKではもう少し早くとかもう少し小さくとか講演者に注意を與へて居ましたが是は却て講演者を落ち着かなくさせますから予め二三心得をお話して後は御注意は申し上げない事にして居ります

次に調整室でありますが調整室には先程申し上げた增幅器を置く外各所との打合せ電話の中繼交換裝置等が必要であります

增幅器は演奏室内のマイクロフォンを流れる電流を擴大するのが目的でありまして三段乃至四段の眞空管增幅器を使用します、何よりも音質が大事でありますから增幅器は大抵抵抗增幅に致します此の增幅器には音量の調整裝置、監聽裝置がついて居りまして常に適當な音で放量送信の方に送り出して居ります

中繼交換裝置と申しますのは他の局からもらひ又他の局へ送り出すための交換器であります、此の交換が又一つの重大な仕事でありまして穴を一つ考えると飛んでもないことになつて了ふのであります電話交換なら相手は二人ですから二度謝ればよいのですが放送だと新京局丈でも一度に一〇〇〇人も二〇〇〇人もにお詫をしなければならないしまして日本送りとなりますと相手は一〇〇萬人二〇〇萬人でありますから厄介です三分も待ちほけを食はせますと人一人一生待ちぼけを食ふこと程にもなり体の好い殺人罪を犯すことになる譯でもあります

海の外から

□豆砲車で實戰研究

米國陸軍砲兵將校間には最近机上に豆砲車を並列、自動仕掛けの機械裝置を施し盛んに手遊びをやつてゐるが之は一見暇つぶしの子供遊びの如く見えるが、事實は野戰に際して砲兵能力を遺憾なく發揮せしむる爲めの一研究であると

□各州注視の道路舗裝材料

割栗石をセメントで固め道路舗裝材料となせば偉大な耐久力を有つといふ實驗は嘗てスコツトランドで確認濟みとなつてゐるが米國アラバマ州セルマ市幹線道路に敷設實施した所一年一ドルの僅少な維持費で物足り、尙ほ七萬ポンドの垂直壓力に堪え得る事が實證されたので各州では重大な參考資料として注目してゐる

□英國に廢物利用風起る

最近英國にも非常時節約風が吹き出し、英國民が廢物利用價値に對して關心を拂ふ樣になつた、目下同國でトップを切つてゐる廢物利用物は夏のパナマ帽の縁を切り書籍の表紙カバーとなせるもので汚損を除く外、中には色彩を施し宛然美術品の觀あるものがあると

讀者から (投書歡迎)

南廣場の苦力 何とかしてほしい

新京署では南廣場の苦力をあそこに集めない事にする旨を發表したが少しも實施されてゐない、毎朝々々幾百人もの苦力が集まつて來て大小便のたれながしはまだしも出張飲食店まで出來、あまつさへ通學の途中にある小學生にからかつたり、市場通ひの奧樣連をひやかし、甚だしいのに至つては体にさはつたりする始末、一人對一人の場合であれば叱りつけも出來やうものをなんしろ相手は幾百人、恥づかしい思ひを忍びながらそのまゝ逃げ去るより外にないといふ有樣、勿論警察は忙しくてそれどころではあるまいがなんとか取締の方法はないものかしら、切に高山署長さんの決斷を希望する次第です（痛憤生）

ラヂオ

九日(土曜日)新京

午後五時〇分　子供の時間(奉天より)　童話・腕白な次郎さん　奉天春日校　廣澤きよし
同　五時三〇分　ニュース(英語)
同　五時四〇分　ニュース(露語)
同　五時五〇分　ニュース(鮮語)
同　六時〇分　ニュース(東京より)
同　六時二〇分　講師　高宮盛逸　話學講座(滿語)
同　六時四〇分　講師　植松金枝　語學講座(日語)
同　七時〇分　演藝(滿語)
同　七時三〇分　講演(滿語)　讀經濟明道說　總務廳事務官　葉參
同　八時〇分　ニュース
同　八時三〇分　時報　氣象豫報　番組豫告(滿語)
同　八時三一分　ニュース(東京より)
同　八時四五分　ニュース　氣象豫報
同　九時〇分　演藝(奉天より)　ラヂオドラマ　北滿の唄　奉天ラヂオドラマ協會員
配役　相良冬子　美代龍　重本ミツ子　福　上田千里　北原れい子　足柄東助　生田勝樹　信濃淳平　懸橋淺夫
演出指揮　近東綺十郎
擬音効果　今堯
同　多田純吉
同　楢澤宏
同　大宮太平
同　大林太郎
引續明日のプログラム豫告

趣味と修養

女の人格は―結婚で完成

新京高女校長 江部易開氏談

殖民地に育つた娘はとかく勤勞を厭ひがちであるから一家の主婦としては不向きである、從つて嫁入口が少い……といふことは常に多くの人から聞かされる言葉でこれに對しては既に度々私の意見をのべてをりますからここでは申しあげませんが、要するにこれ認識不足からくるもので殖民地に生活する人はすべからく殖民地に育つた娘を配偶者にすべきであるといふのが私の持論であります。勤勞を厭ふといふ點は所謂殖民地氣分の精神的支配と殖民地の家庭には比較的老人が少いといふ點などから自然おち入り易い事情にあるのでその點は前回に申しましたやうに大いに意をもちいてゐるところであります

▼―▲

勤勞といふことは男女の別を問はず最も大切なことでありますが女でより以上大切な事はなんと言つても結婚であります。なかには結婚を享樂の如く考へたり又甚しきに至つては何一つ不足のない完全な身体をもつてゐながら一生獨身で暮すなどと言にけしからんことを言ふ人がありますがこれは不心得も亦甚しいと思ひます。殖民地では前言つたやうに家庭に老人のをられる家が少いためと本人の無關心から內地に比べて婚期を逸する人が多いやうに思はれます女の人格完成は先づ結婚によつて生ずるといつてもよい位で、私は今度五年生には機會ある每に結婚の大切なことと必要なことをといてその認識を高め更に一歩進んで今後は卒業生の媒介の勞を出來るだけ多くとる考へでをります

變幻黑船往來

寺島柾史 作　布施長春 畫

第百九十五回

火焔を脫る（10）

北方探檢家の兩名は、白軒をみるなり、とり方を一向に憚る氣色もなく、友愛に滿ちあふれたうれしい言葉を送つた。

『松井氏、お愛どの、安心なされい。我等御兩人をお救ひ申すぞ』

と言ひも終らず御用船を進めておつ手の船の行手を遮斷しようとした。

『忝ない。が、それでは貴藩の御迷惑。お見すてくだされ』

白軒も、當然それを謝絕せねばならない。

『いや、その斷は御安心召されい。今日この海上に立現はれたのは、松前藩のわれ等としてではなく、われ等單獨の擧でござる。他日の迷惑決してなきやうわれ等兩人、及びこれなる遠藤氏ともども脫藩いたした者でござる』

『えッ！それでは……』

『いや、この場合何事もお訊ね下さるな。われ等の友情をまつすぐにうけられて、これより一路函館沖に假泊いたすオロシヤ軍艦へ漕ぎ寄せられい』

『おう……』

『その驚きはもつともがら、オロシヤ船には、あの年老いたカチウドどの、まつたサンプト番屋の乙女チブヌイどのが救はれて、貴殿の來艦を待兼ねてをられるわ』

『おう。おうカチウドどのが…』

『いかにも、歸國の望みを失うて名もない斷崖から身を投げたカチウドどのは、奇跡にも土地の漁師に救はれて、今はオロシヤ軍艦の賓客となつてをる。しかも、チブヌイどのゝ手篤い介抱で、いのちを取止め、しきりに貴殿を戀しがつてをられるわ』

それをきくと、白軒はさらに一層生の執着を感じた。

『忝けない。そのお知らせで、拙者やうやくこの世に生きるのぞみを發見いたした。御兩所、まつた遠藤氏とやら、それではお言葉に甘へて、これよりそのオロシヤ軍艦へ參りまする』

一刀を鞘に納めて、あらためてお愛の握る櫓を執つた。

『おう、われ等のすゝめを容れられたか。あと始末は、大丈夫われ等三人が引受けた。松井氏、お愛どの。安心して沖の黒船へ往かれい。そして、カチウド老人ともに、まだ見ぬあこがれの西洋へ渡られるがよい。それが松井氏の多年の宿望でござつたのう』

『なによりの餞け。かたじけなくおうけする。では磯貝氏、夏川氏遠藤氏とやら、これにてごめん』

『みなさま、ごきげんよう……』

白軒お愛もろともに、別れの言葉を述べた。あたかもおつ手の船の眼中にないごとく……。

『おう、無事で往かれい』

夏川左京は聲を張りあげてそれを見送つた。

そのまゝ、松前藩の御用船は、おつ手の　を完全にしや斷してを

――御用だ！御用だ！

――逃げい！

とり方の船からは騷然と叫喚があがつた。

が、それを笑殺するやうに、大型の漁船體の御用船は、悠々閑々と海上を橫ぎつて、あくまでとり方の傳馬船の行手の邪魔立てしてをる。

白軒お愛を乘せた小船は、そのまに虎口をのがれ、いつか、朝ぎりのかなたに沒してしまつた。